

プレスリリース



2004年10月24日

「ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004」日本組織委員会

10月24日(日)のトピックス

会議登録者が過去最高の 5,794 名
展示会来場者が 50,000 人突破 記念品贈呈セレモニー開催
全国ITS関連行事参加者が100万人を突破
月尾プロデューサー総括「世界会議は当初の目標を達成」
石事務局長総括「ITSは第2段階へ」
市民参加の目玉「ITSワールド」が大好評。入場者は 24,267 名
産官学連携で作上げたITSショーケース
海外から 53 の国と地域が参加、海外からの会議登録者は1,440名
被災者支援のための募金活動を実施
本日および期間中の来場者数

1. 会議登録者が過去最高の5794名に

ITS世界会議の会議登録者数が、過去最高の 5,794 名に達した。

2. 展示会来場者 50,000 人突破・記念品を贈呈

最終日である本日、目標にしていた展示会の一般来場者数 50,000 人を午前 10 時 5 分に達成し、期間中の来場者は最終的に 6 万人を越え 61,394 人となった。

前日の最終参加者累計が 49,651 人に達していたことから記念セレモニーを組織委員会で企画、50,000 人目にゲートを通過した参加者に花束を贈呈しました。

50,000 人目に入場したのは家族で来場していた名古屋市在住の吉田香さん。

10時30分からの記念セレモニーでは月尾総合プロデューサーからカーナビセットと世界会議グッズ一式が贈られました。

また来年の愛知万博のマスコット・モリゾ - とキッコロ、セントレア(中部国際空港)のマスコット・フーちゃんも参加、セレモニーに花を添えました。

3. 全国ITS関連行事参加者が100万人を突破

全国で展開されていたITSの関連行事の参加者数が、当初目標の2倍の100万人に到達しました(累計)

なお、OASIS 21で行われていたITSフェスティバルの参加者数が60万人を超えました。



4. 世界会議総括 1 月尾総合プロデューサー「当初の目標は達成できた」

これまでの 10 回は専門家のための会議だったが、今回から「市民参加」というコンセプトを新たに打ち出し、市民と企業と社会の一体感を重要な柱の一つに据えた。

数的目標にしていた一般来場者 50,000 人を達成し、このコンセプトの正当性を証明できた。また「安全」「環境」「快適・利便」の3つの主題で会議を構成し、論文を聴衆に説明してその場で討論する「インタラクティブセッション」やITSの社会的役割を一般の方に理解して頂く為にITSワールドを設け、各方面から大好評を頂くことが出来た。

また台風の影響を受け一部のテクニカルツアー・市民講座が中止になったものの、テクニカルツアーへの一般参加等、新機軸を打ち出すことが出来、意義深い会議になったと思う。

5. 世界会議総括 - 2 日本組織委員会 石事務局長「ITSは2nd ステージに突入を実感」

ITSは新たな局面・セカンドステージに入ったという事を実感した世界会議だった。

民間ビジネスにおいては、自動車・電機・情報通信などのITS関連技術が具体化し、ビジネスとして拡大しつつある。

展示会の規模・内容にそれが如実に現れていた。かつてこれほど大規模な展示会が開催された事は無く、日本と日本企業のITSへの取り組みと、産業力・組織力を世界に発信できたと思う。

また産官学連携においては20大学50研究室という世界会議史上初の規模の研究機関が参加した。中央・地方を問わず日本のITSを担う民間活力を示す絶好の舞台になり、民間すなわち利用者との共同作業が、未来のITS社会構築に欠かせないとの判断から、「市民参加」というコンセプトを打ち出したが、参加目標 50,000 人を突破し、ITS世界会議に新たな潮流を作ることが出来たと思う。

過去の世界会議で、これほど幅広い層の参加者が来場した事はなく、今や社会のあらゆる層にITSが浸透しはじめていると実感した。

BOD会議では、市民参加コンセプトが各国から絶賛・賞賛され、関わった一人としてはうれしく感じた。

6. 市民参加の目玉 - ITSワールド大好評！入場者は累計で 24,267 人

全国初の市民参加の目玉として、主催者展示のITSワールドが大好評。

期間中の入場者は 24,267 人を数えた。

7. 3年をかけて産官学連携で作り上げたITSショーケース」

専門家向けにテクニカルツアーとして20コース(27便)を運航し537名が参加し、ITSショーケースを視察体験した。

多くの参加者から高い評価を得る事が出来、今後の実用化・普及に向けた取り組みに弾みがつくものと思われる。

ただし台風のために11コースが中止となったことは、残念であった。

一方市民向けには、ITS市民見学会として19日～24日まで市民にショーケースをスタンブラリー形式で公開した。

プレスリリース



参加者は当初目標の 3,000 人を突破しており、約 5,000 人に達する見込みである。
更にポートメッセなごやの展示会場の来場者には、小中高生や家族連れも多く、この事はITS市民見学会が市民参加の役割を、果たしたものと言える。

8. 海外トピックス総括

1. 参加国 53ヶ国・地域
 2. 海外登録者 1,440 人
 3. 海外出展企業・団体 106企業・団体
 4. 開会式参加外国政府代表
 - ・ 米国:ジェフリ・ランギ氏(NHTSA=国家高速道路交通安全局長官(局長))
 - ・ 欧州:ベルンハルト・ツェプタ(駐日欧州委員会代表/大使)
 - ・ アジア:吉林 北京市副市長
- ITS推進組織代表
- ・ ITSアメリカ プレント・ベア会長
 - ・ ERTICO ジョン・ヒューズ副会長

海外からの参加者の方々には、ITSワールドを始めとした展示会・テクニカルツアーに参加して頂きました。

テクニカルツアーではあいにくの雨にも関わらず、熱心に日本の近未来のITS技術を見て頂きました。

また、多くの方々がITSワールドを 2004 年だけで終らせず、2005・2006年にも活用できるようにしたいとの賛辞が寄せられました。

9. 地震被災者支援のための募金活動を会場内で開始・多くの参加者が趣旨に賛同

ITS日本組織委員会は「平成 16 年新潟県中越地震」被災者支援のため会場内で募金活動を実施しました。

多くの来場者・出展関係者・事務局から集まった募金は 168,405 円に達しました。

組織委員会から日本赤十字社を通して被災地に送られます。

また日本組織委員会としても「台風 23 号」並びに「平成 16 年新潟県中越地震」の被災者にお見舞金を送る事としました。

プレスリリース



10. 本日の来場者数

11,743 人(最終)

61,394 人(最終累計)

日別入場者数・累計一覧

	来場者(日別最終)	来場者(累計)
18日	2,000 人	2,000 人
19日	10,264 人	12,264 人
20日		12,264 人
21日	12,411 人	24,675 人
22日	13,530 人	38,205 人
23日	11,446 人	49,651 人
24日	11,743 人	61,394 人

来場者には、会議登録者・招待者・入場券来場者・市民見学会参加者・出展関係者を含む

以上